


ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



2 609 141 229

2 609 141 229 (14.11)

バッテリーインパクトレンチ
GDS18V-EC250
GDS18V-EC250H



取扱説明書

このたびは、弊社バッテリーインパクトレンチをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
バッテリー工具全般についての注意事項	2
バッテリーインパクトレンチについての注意事項	9
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	13
●本製品について	
用途	14
各部の名称	14
仕様	15
標準付属品	16
●使い方	
バッテリーを準備する	17
作業前の準備をする	19
作業する	21
ボルトの締め付け	24
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	26
修理を依頼するときは	27
●お手入れと保管	
クリーニング	28
保管	28

ご安全上
注意の

のリサイク
のために

本製品に
ついて

使い方

困ったときは




お手入れと
保管

安全上のご注意

ご安全 注意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。




警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリーインパクトレンチには、当てはまらない項目も含まれています。

 **危険**

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

ご安全
注意の
意の

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

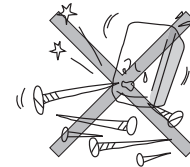


3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

 **警 告**

ご安全
注上
意の

1. 正しく充電してください。

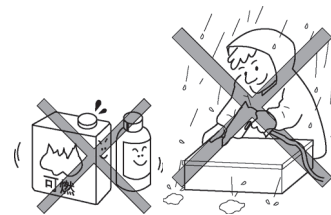
- ◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

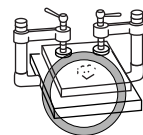
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してしてください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。


- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みの電池パックは、一般家庭ゴミとして棄てないでください。

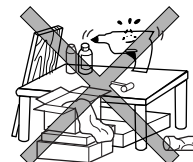
棄てられた電池パックが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

 **注 意**

ご安全
注上の
意の

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

- ◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

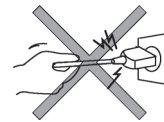


7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

**13. 損傷した部品がないか点検してください。**

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。

**14. バッテリー工具の修理は、専門店で依頼してください。**

- ◆ サービスマン以外の方はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

バッテリーインパクトレンチについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バッテリーインパクトレンチをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
上
意の




警告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. 作業する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
3. 電線が通っていそうな壁などで作業する必要がある場合は、必ずハンドルの絶縁されたグリップ面で工具を保持してください。
 - ◆ 通電している電線に接触し、工具の金具に電気が流れると、感電する恐れがあります。
4. やむを得ず、湿気の多い場所でコード式工具を使用する場合は、漏電遮断器を設置し、工具に給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が小さくなります。
5. アースされたパイプ、暖房機器、電子レンジ、冷蔵庫などに身体を触れさせて、工具を使用しないでください。
 - ◆ 身体が触れたまま使用すると、感電する危険が大きくなります。
6. 長時間日光の下で作業したり、火や水、湿気のある場所で作業したりしないでください。
 - ◆ バッテリーが爆発する恐れがあります。

7. バッテリーパックを酷使すると、液漏れが生じることがあります。バッテリー液に触れないようにしてください。誤ってバッテリー液が肌に触れた場合は、水で洗い流してください。
 - ◆ 誤ってバッテリー液が目に入った場合は、水で洗い流し、医師の手当てを受けてください。バッテリー液は、やけど・炎症の原因になります。
8. 使用中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。
 - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
9. 使用中は、先端工具や回転部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
10. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
11. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
12. 使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
13. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

14. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。
15. 雨にぬらすなど、工具を湿った環境にさらさないでください。
 - ◆ 工具に水が入ると、感電する危険が大きくなります。
16. 工具の点検作業を行ってください。可動部にアライメント不良・取り付け不良がないか、各部に破損がないか点検してください。不良や破損がある場合は、工具の使用を中止し、修理に出してください。
 - ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに生じています。

ご安全
注意の

 注意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具は高温になっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
6. 安全のため、ヘルメットおよび滑り止め付き安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。
 - ◆ 保護具の着用は、けがの防止につながります。

7. 使用していない工具は、子供の手が届かないところに保管し、
知識のない人が使用できないようにしてください。

- ◆ 知識のない人が使用するとけがや事故の原因になります。

ご安
全
注
上
意
の

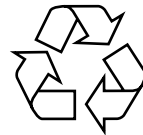
リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシユ電動工具取扱店、ポッシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
た
め
に

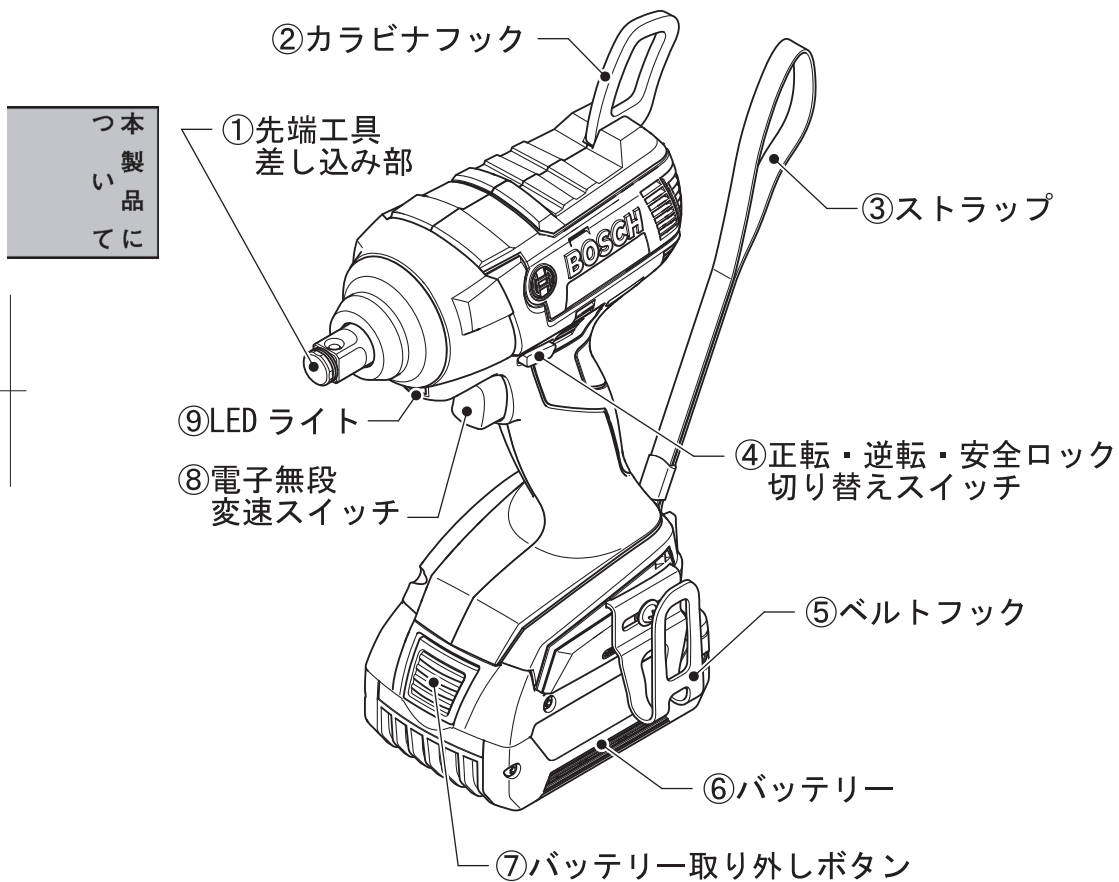
この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用途

- ◆ ネジ、ボルトの締め・緩め

各部の名称



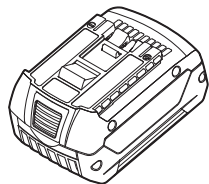
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕様	
本体	
型番	GDS18V-EC250 / GDS18V-EC250H
定格電圧	DC 18 V
締め付けトルク (最大)	250 N・m
締め付け能力	普通ボルト M10~M18
無負荷回転数	0~2400 min ⁻¹ (回転/分)
無負荷打撃数	0~3400 min ⁻¹ (回/分)
充電可能温度範囲	0°C~+45°C
使用可能温度範囲	-20°C~+50°C
保管可能温度範囲	-20°C~+50°C
質量 ^{*1}	2.0 kg
先端工具差し込み部	角ドライブ 12.7 mm
振動3軸合成値 ボルト締め	17.8 m/s ² EN60745 規格に基づき測定
原産国	マレーシア
バッテリー (リチウムイオン)	
電圧	18 V

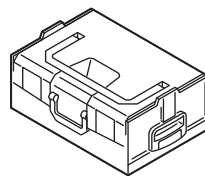
本
製
品
に
つ
いて

*1 バッテリー18V 5.0Ah 装着時

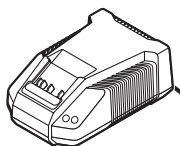
標準付属品 (GDS18V-EC250 のみ)



リチウムイオンバッテリー
18V 5.0Ah (2個)



キャリングケース
(L-BOXX136)



充電器

L-BOXX インレイ

本製品に
ついでに

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

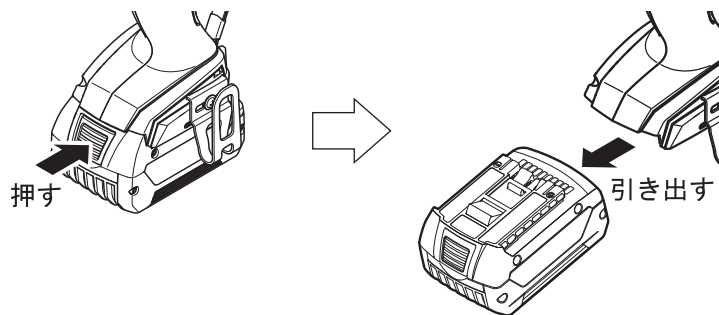


注意

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してください。

バッテリーを準備する

● 取り外す

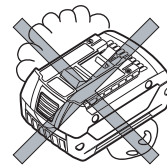


「バッテリー取り外しボタン⑦」を押しながら、バッテリー⑥を本体から前方へ引き出します。

使
い
方

● 点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● 充電する

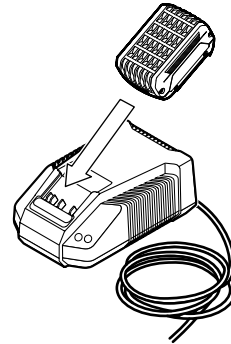


警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑥を充電してください。
- ◆ バッテリー⑥が熱くなっているときは、冷ましてから充電してください。

- ☞ リチウムイオン電池は電池寿命に関係なくいつでも充電が可能です。また、充電の中断が電池にダメージを与えることはありません。
- ☞ 充電しても極端に作業時間が短い場合は、バッテリー⑥が消耗しています。バッテリー⑥を交換してください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑥を差し込みます。
充電が始まります。
(『充電器の取扱説明書』参照)



3. 充電が終わったら、バッテリー⑥を充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

作業前の準備をする

● 先端工具を取り付ける・取り外す



警告

◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑥を本体から取り外してください。

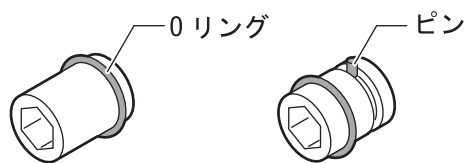


注意

◆ 先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、手など身体を傷つけないように十分注意してください。

取り付け

1. ソケットの溝にはまっているOリングをずらして、ピンを外します。

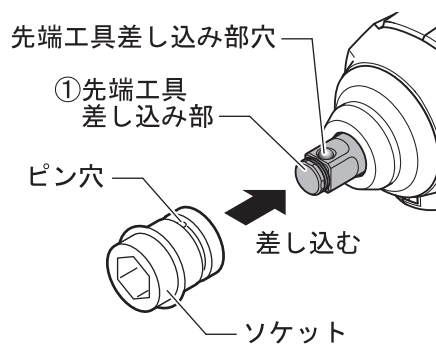


2. ソケットを先端工具差し込み部①に差し込みます。
ピン穴と先端工具差し込み部穴の位置が合うように差し込んでください。

3. ピン穴と先端工具差し込み部穴にピンを刺します。

4. Oリングをソケットの溝に戻して、ピンを固定します。

5. ソケットを軽く引っ張り、抜けないことを確認します。



使
い
方

取り外し

1. ソケットの溝にはまっているOリングをずらして、ピンを外します。

2. ソケットを先端工具差し込み部①から引き抜きます。

3. Oリングをソケットの溝に戻します。

● ストラップ・フック類を確認する

カラビナフック②・ストラップ③・ベルトフック⑤を使用するときは、しっかり取り付けられていることを確認してください。

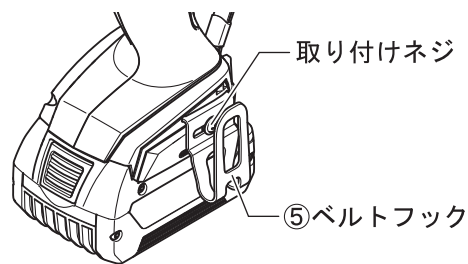
注意 ◆ カラビナフック②やベルトフック⑤を使用するときは、取り付けネジでしっかり固定されているか確認してください。ネジが緩んでいるときは締めてください。

ベルトフック

ベルトフック⑤は、プラスドライバー(#2)で取り付けネジを緩めると、取り外すことができます。

また、ベルトフック⑤は本体の左右どちら側にも付けることができます。

使
い
方



カラビナフック

カラビナフック②は、プラスドライバー(#1)で取り付けネジを緩めると、取り外すことができます。



作業する



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを取り付ける前に、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してください。

① 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を確認する

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）になっているか確認します。

なっていない場合は、安全ロックの位置（中央）にしてください。

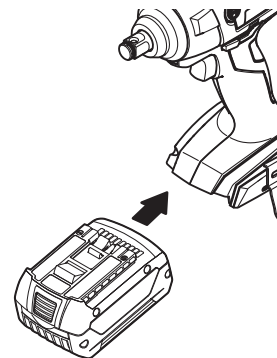
② 本体にバッテリー⑥を取り付ける

バッテリー⑥を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ バッテリー⑥は二重ロックになっています。
- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



使
い
方

3 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を切り替える



注意

◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」は切り替えないでください。

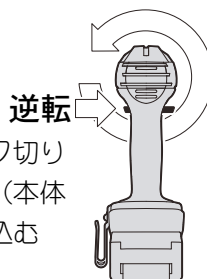
締め



正転

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」の右側（本体を後ろから見て）を押し込む

緩め



逆転

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」の左側（本体を後ろから見て）を押し込む



「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を中間の位置で固定すると、安全ロックが働き、不用意に「電子無段変速スイッチ⑧」を作動させるのを防ぎます。


使
い
方

4 LED ライト⑨を点灯させる

「電子無段変速スイッチ⑧」を軽く引き込むと、LED ライト⑨が点灯します。
 (このとき先端工具差し込み部①は回転しません)
 暗い場所で作業をする場合は、作業前に一度ライトを点灯させると、位置が確認できて便利です。

- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」をいっぱい引き込むと、LED ライト⑨が点灯し、先端工具差し込み部①が回転します。
- ☞ LED ライト⑨は「電子無段変速スイッチ⑧」から手を離れた後もしばらく点灯を続け、その後自動的に消えます。

5 「電子無段変速スイッチ (ブレーキ付) ⑧」を操作する

-  **警告**

 - ◆ 作業直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
 - ◆ 低回転での長時間の作業はしないでください。
 低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転で回し、機体を冷却してください。連続作業の際は、必ずスイッチをいっばいに引き、最高回転で使用してください。

「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込みます。

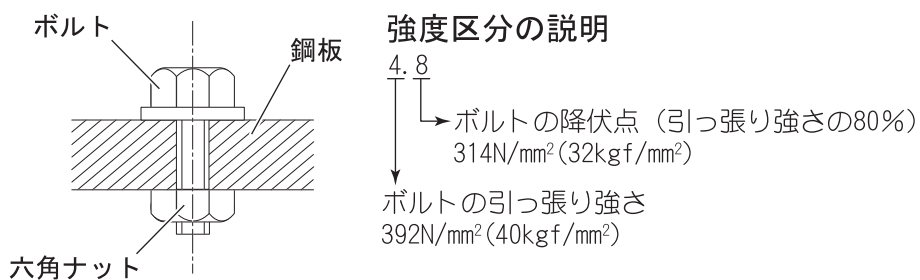
- ☞ 作業時、必要以上に本体を押し付けたりしないでください。
- ☞ 本体がポルト、ナットに対してまっすぐになるように、本体を両手で保持してください。
- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込む加減で、回転数が調節できます。
- ☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑧」から指を離してください。
- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込むと、「LED ライト⑨」が点灯します。

本機には、電子セル保護システム (ECP機能) がついております。
 本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
 上記の状態が解消されると、再始動することができます。
 本体が停止している状態で「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込み続けると、故障の原因になります。

ボルトの締め付け

● ネジの締め付け能力

ボルトの適正締め付けトルクは、ボルトの材質（等級）、サイズ、締め付け対象物の材質によって異なります。ボルトの締め付けトルクと締め付け時間の関係は下図のようになっています。これらを参考にして適正な締め付け時間で作業してください。



使
い
方

- ☞ 同じ径のボルトでもトルク係数、等級、長さによって、締め付けトルクは異なります。
- ☞ 締め付け対象物の座面状態や対象物どうしの状態によっても、締め付けトルクは異なります。
- ☞ バッテリーの充電容量が少なくなると、締め付けトルクは低下します。
- ☞ ボルトを過度に締め付けると、ボルトを破損する場合があります。
- ☞ ユニバーサルジョイント、エクステンションバーなどを使用すると、締め付けトルクは若干低下します。
- ☞ 作業前に何本か試し締めを行い、締め付けトルクと締め付け時間を確認してください。特に M8 以下のボルトの場合には締め付けトルクと締め付け時間に注意してください。

最大締め付けトルク (参考)

計算式には、断面張力、降伏点の 90 % (摩擦係数 $\mu_{\text{total}} = 0.12$) を使用しています。トルクレンチにより常時トルクを確認してください。

DIN規格267に準拠した特性区分	標準ネジ/ ボルト					高力ボルト		
	3.6	4.6	5.6	5.8	6.8	8.8	10.9	12.9
M6	2.71	3.61	4.52	6.02	7.22	9.7	13.6	16.2
M8	6.57	8.7	11	14.6	17.5	23	33	39
M10	13	17.5	22	29	35	47	65	78
M12	22.6	30	37.6	50	60	80	113	135
M14	36	48	60	79	95	130	180	215
M16	55	73	92	122	147	196	275	330
M18	81	110	135	180	215	290	405	485
M20	115	155	190	255	305	410	580	690

使
い
方

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んで、回らない	<p>バッテリー⑥が消耗している</p> <p>バッテリー⑥の温度が最適温度範囲外になっている</p> <p>本機の温度が作業可能温度範囲外になっている</p>	<p>バッテリー⑥を充電するか、交換する</p> <p>バッテリー⑥が最適温度範囲内になるまで待つか、交換する</p> <p>作業可能温度範囲内になるまで待つ</p>
「電子無段変速スイッチ⑧」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑥の寿命が尽きた	バッテリー⑥を交換する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176


ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407


困ったときは

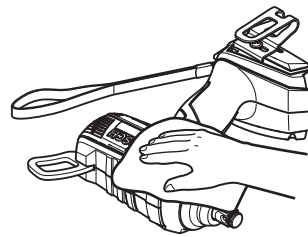
お手入れと保管

 **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑥を本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- 通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- バッテリー取り外しボタン⑦やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保管

- 使用後は、バッテリー⑥を取り外し、きちんと保管する

お
手
入
れ

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリー⑥は50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

